

# 私たち『小さなホテル セラヴィ』が目指すべきこと

## 第1章 自然の恵みに感謝を

北に不動山、陣見山、南西に宝登山と山々に囲まれた町の中央には荒川が南北に流れており、長瀬渓谷となっています。この豊かな自然を守り、次世代も豊かに暮らせるために最小限のエネルギーと最小限の資源を無駄なく使っていきたいと思います。四季折々の空気や木々の様子、食材を五感で味わってください。セラヴィでは繰り返し使える歯ブラシ等々をご用意致しました。どうぞお持ち帰り下さい。



<省資源・省エネルギー・フードロス削減など環境配慮に取り組めます。>

## 第2章 命の声にこころを傾けて

人や動物だけが声を発しているわけではありません。調理人は野菜の作り手からバトンを受け取った瞬間から その声に心を傾け感謝を重ね大切に扱います。そして技と魂と愛情を込め、より美味しくより美しくお客様の元に届けます。残すことなくすべてのもの達がおお客様の心と体を元気にするようにと。アンティーク家具や年代物の器などの声も同じように心を傾け初めて触れた時のように50年後100年後まで変わることなく続くよう 愛情込めて育てます。私たちは大事に重ねてゆくその時々を、全てのもの達に優しくありたいと思います。



<3R(リデュース:減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再資源化する)を推進します。>

## 第3章 ご縁を繋ぐ

館内は地元の作家の作品を多く取り入れ、まるでギャラリーの様です。スタッフが実際に工房に足を運び、作家の方との交流を経て、作品や工房体験のご案内をさせていただいています。また、当館では「旅の思い出」として作品を購入していただけます。これからも、長瀬町の魅力、埼玉県の魅力を発信して参ります。



<地産地消・地域イベントに参加・地元作家の作品紹介などで地域の活性化に寄与します。>

## 第4章 人生を豊かなものに

お客様に快適な幸せな時をお過ごしいただくためにはお迎えする側も幸せでなくてはなりません。セラヴィではスタッフが家族と共に過ごせるよう年末年始はお休みです。昨日より今日。そしてより素敵な明日を迎えるために心も身体も健康で、生き甲斐を感じ日々成長しながら生き生きと働きます。大切なことはいつもお客様に教えて頂きました。スタッフにはお客様の笑顔が何よりのご褒美です。その笑顔を思い出しながら今日もお迎えの準備を整えて。



『お帰りなさい』  
一息ごとに自由に。どうぞごゆるりとお過ごしくださいませ。

そして、また  
『行ってらっしゃい』

<スタッフへは働きがいを、お客様へは癒しのひと時を提供し持続可能な社会を目指します。>